

学力向上に向けた5つの提言（宮城県教育委員会）



- 1 どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。
- 2 子供をほめること、認めること。
- 3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
- 4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- 5 家庭学習の時間を確保すること。

石巻市立学校教職員スタンダード (1~5)  
と 本校の取組 (枠内)



**1 子ども一人一人の役割や居場所を確保し、活躍の場を設ける。**

- ・班活動を基盤として、一人一人の役割を明確化した係・当番活動を行う。
- ・班活動を基盤として、班長会を生徒会を連携させて活動する。
- ・生徒健全育成ボランティア「シリウス」を中心に、あいさつ運動やいじめゼロ運動を通して学校、学級への所属感を高める。
- ・学校行事において、生徒主体で計画、進行ができるようリーダーを育成する。

**2 子どもの良さや頑張りを認め、褒める。そのことを保護者にも積極的に伝える。**

- ・朝の会、帰りの会での生徒の活動を振り返る話合いの場面を設定する（4と共通）。
- ・生徒集会や学年集会を活性化し、教師や生徒相互での賞賛の場面を設定する。
- ・生徒および保護者に校内の様子を伝える手段として、校内放送の活性化、学校だより・ホームページの充実を図る。
- ・保護者が行事に参加できる場を設けたり、送迎等で来校した保護者と積極的に談話するなど、綿密に連携を図る。

**3 学習面や生活面において、目標（ゴール）を明示して活動させる。**

- ・授業の目標の視覚的な提示を工夫する（5と共通）。
- ・集団や個人のレベルに合わせ、適切な授業の目標を提示する。
- ・意見や考えを書く活動を通して、達成度を目標と照らし合わせ、目標に対する意識づけを図る。
- ・係活動を主体として、朝の会での生活目標の設定と帰りの会での振り返りを毎日行う。
- ・係活動が主体となった清掃や自主学習などのコンクールを開催する。

**4 1日1回は、子ども同士で話し合う場面を意図的に設ける。**

- ・（3で掲げた）生徒が書いた意見や考えを、ペアや班で発表し、交流する場面を意図的に設定する。
- ・（3で掲げた）生活目標についての朝の会、帰りの会での生活班での話合いの場面を設定する。

**5 ユニバーサルデザインに配慮した教育環境を整える。**

- ・授業の見通しを持たせるための、目標や学習の流れの視覚的な提示を工夫する。
- ・ICT機器を利用して、視覚を焦点化したり、動作や図表を明示したりする。
- ・タイマーを利用し、活動時間を明確にする。

